

2019年度 本宮市立本宮小学校経営ビジョン

◇本宮市学校教育指導の重点◇

目指す子どもの姿
自分のよさや可能性を発見し、夢に向かう力が強い子ども

◆新指導要領実施に向けて

- 教科横断的な視点から教育活動を改善
- 教育内容の質の向上
- 人的・物的資源等の効果的な活用

教育目標：考える子・思いやりのある子・やりぬく子

考える子
＜学＞自分の考えをもち、互いに高め合う子どもの育成



思いやりのある子
＜心＞相手の気持ちを考え、いたわり協力し合う子どもの育成



やりぬく子
＜体＞心身ともに健康で、たくましい子どもの育成

- 確かな学力の定着・向上【授業の創造】**
- 1 「思考力・判断力・表現力」の育成
 - 2 互いに高め合う集団の育成
 - 3 学習習慣の育成

- 豊かな心の育成【人間性・社会性】**
- 1 相手を思いやる心の育成
 - 2 道徳性や社会規範を重んじる心の育成
 - 3 命の尊さを大切にする心の育成

- 健やかな体の育成【健康・安全】**
- 1 健康についての望ましい態度・行動習慣形成
 - 2 安全についての望ましい態度・行動習慣形成
 - 3 積極的な体力向上

＜そのために、こんな手立てをとります＞

- 1 思考力・判断力・表現力を育てます。
 - ①根拠をあげて自分の考えを書く活動の重視
 - ②的確な評価と、個に応じた指導の充実（コース別学習、授業や単元末、活用力育成シート等の評価）
 - ③ICTを活用した授業の推進
- 2 課題の追究活動の充実を図り、共に学び高め合う集団を育てます。
 - ①課題の追究活動の充実（読む・聞く・話す⇒考える・調べる⇒話す・書く⇒比較・検討（交流）⇒発信）と共に高め合う学級・学習集団の育成
 - ②教科横断的な授業の視点を持ち、思考の共有と吟味を促す「学び合い」や振り返り活動の充実
- 3 家庭学習と読書の習慣化を図ります。
 - ①授業に活かす家庭学習（復習・予習）の提示
 - ②読書活動の習慣化

【保護者こそ良きパートナー】

- 1 交流活動や仲間作り活動を推進します。
 - ①合同学習や異学年交流活動の実施（清掃や特別活動、ふれあいタイム等での縦割り活動の積極的推進）
 - ②「承認・奨励・称賛」を重視した子ども同士・教師と子どもの信頼関係づくり
 - ③「人・もの・こと」とかかわる体験活動の実施
- 2 挨拶やマナー、礼儀、規範意識等を育てる指導を充実させます。
 - ①あいさつ運動の実施
 - ②教科道徳、特別活動等での実践
 - ③キャリア教育の充実
- 3 生命の尊さ、一人一人の尊厳について指導します。
 - ①保護者との密なる連携と協力
 - ②いじめゼロに向けての指導体制の充実
 - ③特別な支援を要する児童への指導の充実

【和と協働】

- 1 家庭と連携し、健康的な生活を実践しようとする児童を育てます。
 - ①正しい生活習慣の形成（早寝・早起き・朝ご飯・運動の励行、テレビやゲーム、インターネット等の視聴時間の協力）
 - ②「食」と「歯」に関する指導の充実
- 2 地域や関係機関と連携し、安全に行動できる児童を育てます。
 - ①登下校時や下校後等の安全指導の強化
 - ②安全指導や防災指導の充実を図り、自分の命は自分で守る態度の育成
- 3 体力の向上を目指して日常的に運動に親しむ児童を育てます。
 - ①筋力・持久力（業間活動等）の向上と教科体育の充実
 - ②運動カード（マラソンや縄跳び）の活用
 - ③運動環境の整備（校庭・遊具・体育館）

【やっぱり本宮小でよかった】

家庭・保護者 「学校への熱い想い」

- 学校からの発信と家庭からの要望の把握に努めます。（各種アンケートの実施）
- 保護者の協力を積極的に受け入れます。
 - ・各種体験活動やボランティア等
 - ・PTA活動の充実と協力



【ネットワーク】

教職員 「最大の教育環境は教師」

- 児童一人一人の伸びや頑張りを褒め認めることで、児童の自己肯定感を育みます。
- 不祥事絶無に全力で立ち向かいます。
- 学年・学級経営の工夫充実に努めます。
- 教育相談の充実に努めます。



【チームワーク】

地域・学区 「地域があり学校がある」

- 地域の教育力を積極的に取り入れます。
 - ・地域人材の活用・地域行事への協力
- 地域と協力して子どもの安全を守ります。
 - ・防災教室の実施や見守り隊等との連携
- 同一中学校区の教育連携を密にします。
 - ・幼保小中連携の授業研究と情報交換

【フットワーク】

